

令和二年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験

◆音楽通論◆

受験
番号

I. 次の楽譜を見て、設問に答えなさい。(計50点)

1 Allegretto

A

B

5

8

11

16

19

ア

イ

ウ

C

D

①

②

③

④

⑤

ff

f

p

fz

3

4

6

7

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

- (1) 指定された部分の調を、それぞれドイツ語で答えなさい。(計6点、各2点)
 ①第1小節より第4小節まで ②第5小節より第8小節まで
 ③第11小節より第16小節まで
- (2) □で囲まれた①～⑤に該当する和音の種類を、例にしたがって記しなさい。
 (例:短三和音) (計5点、各1点×5)
- (3) ①～⑤の和音それぞれについての指示にしたがって、調号を用いなくて全音符で記しなさい。(計10点、各2点×5)
 ①の和音の第一転回形を低音部譜表上に記す。
 ②の和音の第二転回形を高音部譜表上に記す。
 ③の和音の基本形をソプラノ譜表上に記す。
 ④の和音の第三転回形をアルト譜表上に記す。
 ⑤の和音の第一転回形をテノール譜表上に記す。
- (4) **♯**の音を完全5度低くした音を主音とする長音階を、調号を用いなくて、高音部譜表上に、全音符で記しなさい。(2点)
- (5) **♯**の音を増4度高くした音を導音とする和声的短音階を、調号を用いなくて、アルト譜表上に、全音符で記しなさい。(2点)
- (6) **♭**の音を減7度低くした音を下属音とする旋律的短音階を、調号を用いなくて、テノール譜表上に、上行形下行形とも、全音符で記しなさい。(4点)
- (7) **A**の意味を答えなさい。**B C D** の記号や略号を、イタリア語で省略しないで記しなさい。そして各々の意味を答えなさい。(計8点、**A**2点、**B C D**(各1点×2)×3)
- (8) 楽譜の  で示された部分を完全4度下方へ移調し、調号を用いなくて、大譜表に記しなさい。(計13点)

第二次試験

Ⅱ. 次の楽譜を見て、設問に答えなさい。(計38点)

The musical score consists of four systems, each with three staves (treble, alto, and bass clefs). The key signature is three sharps (F#, C#, G#). The score includes various musical notations such as notes, rests, beams, and slurs. Dynamics like *p* (piano) and *più f* (più forte) are indicated. Ten specific points are marked with circled numbers and arrows pointing to them:

- 1**: Points to a whole rest in the first staff of the first system.
- 2**: Points to a half note in the first staff of the second system.
- 3**: Points to a quarter note in the bass staff of the second system.
- 4**: Points to a quarter note in the first staff of the second system.
- 5**: Points to a quarter note in the first staff of the third system.
- 6**: Points to a quarter note in the first staff of the third system.
- 7**: Points to a quarter note in the bass staff of the third system.
- 8**: Points to a quarter note in the first staff of the third system.
- 9**: Points to a quarter note in the bass staff of the fourth system.
- 10**: Points to a quarter note in the first staff of the fourth system.

The first system begins with a key signature change from three sharps to two sharps (F# and C#). The word "例" (Example) is written below the first staff of the first system.

第二次試験

- (1) ①～⑤の音程を、例にしたがって答えなさい。[例:完全8度](計10点、各2点×5)
- (2) ⑥～⑩で得られた音程を、解答用紙に示された音の上部につくりなさい。
(計10点、各2点×5)
- (3) ⑥～⑩の転回音程を、解答用紙に示された音の下部につくりなさい。
(計15点、各3点×5)
- (4) この楽曲が♩ = 60の速さとする、楽譜の全ての小節を演奏するための
所要時間は何分何秒になるか、答えなさい。(3点)

Ⅲ. 以下の楽譜の、調の推移を全て、ドイツ語で答えなさい。(計12点)

以上

令和二年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験

◆音楽通論◆

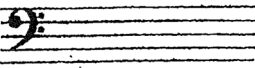
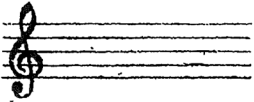
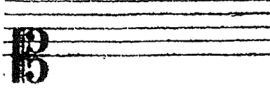
受験
番号

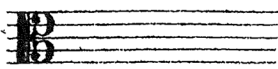
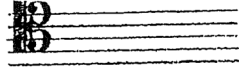
I. [計50点]

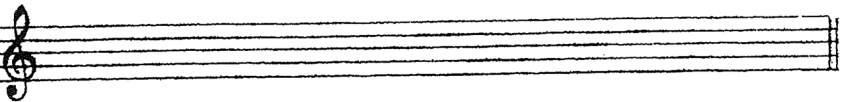
(1) ① _____ ② _____ ③ _____ [計6点、各2点]

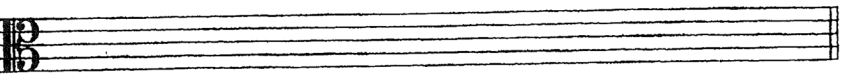
(2) ① _____ ② _____ ③ _____

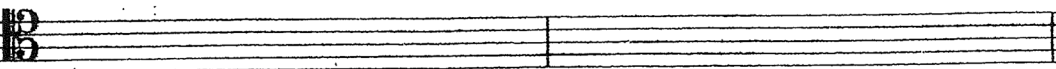
④ _____ ⑤ _____ [計5点、各1点]

(3) ①  ②  ③ 

④  ⑤  [計10点、各2点]

(4)  [2点]

(5)  [2点]

(6) 

[計4点、2点×2]

(7) **A** 意味 _____

B _____ 意味 _____

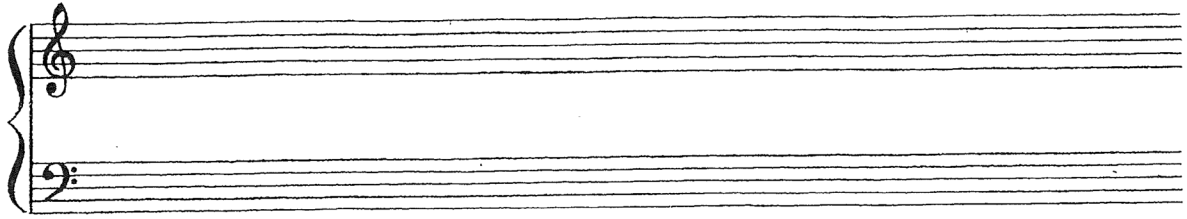
C _____ 意味 _____

D _____ 意味 _____

[計8点、A2点、BCD<(各1点×2)×3]

第二次試験

(8)



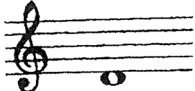
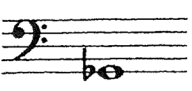
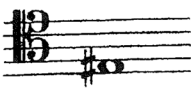
[計13点]

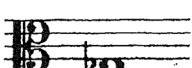
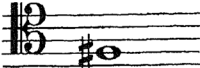
II. [計38点]

(1) ① _____ ② _____ ③ _____

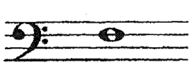
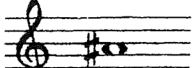
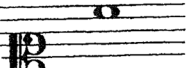
④ _____ ⑤ _____

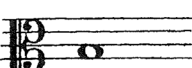
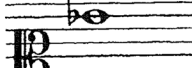
[計10点、各2点]

(2) ⑥  ⑦  ⑧ 

⑨  ⑩ 

[計10点、各2点]

(3) ⑥  ⑦  ⑧ 

⑨  ⑩ 

[計15点、各3点]

(4) _____ 分 _____ 秒 [3点]

III. [計12点]

a moll →

令和二年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験

◆音楽通論 解答例（試験時間 1 時間）◆

I. [計50点]

(1) ① c moll ② f moll ③ As dur [計6点、各2点]

(2) ① 短三和音 ② 長三和音 ③ 属七の和音

④ 減七の和音 ⑤ 減三和音 [計5点、各1点]

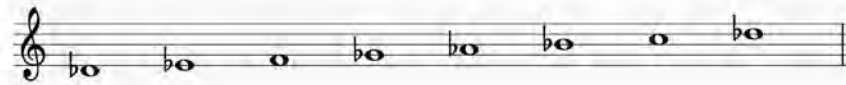
(3) ① ② ③



④ ⑤ [計10点、各2点]



(4)



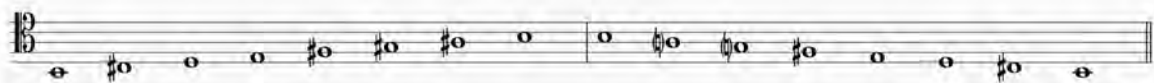
[2点]

(5)



[2点]

(6)



[計4点、2点×2]

(7) A 意味 やや 快 速 に

B crescendo 意味 だ ん だ ん 強 く

C fortissimo 意味 き わ め て 強 く

D staccato 意味 音 を 切 っ て

[計8点、A2点、BCD<(各1点×2)×3]

第二次試験

(8)



[計13点]

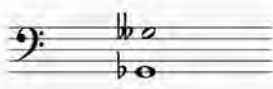
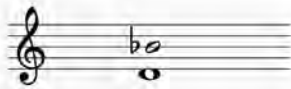
II. [計38点]

(1) ① 完 全 5 度 ② 短 3 度 ③ 短 2 度

④ 長 6 度 ⑤ 增 4 度

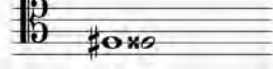
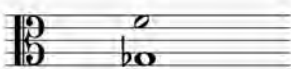
[計10点、各2点]

(2) ⑥ ⑦ ⑧



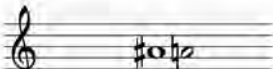
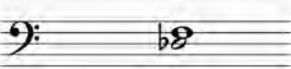
⑨

⑩



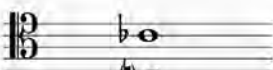
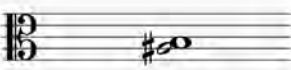
[計10点、各2点]

(3) ⑥ ⑦ ⑧



⑨

⑩



[計15点、各3点]

(4) 1 分 18 秒 [3点]

III. [計12点]

a moll → **e moll** → **h moll** → **fis moll**

【参考】

平成 31 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

旋律聴音

(主音及び主和音を与える。20 秒間隔で、6 回通奏を行う。6 回目の通奏終了後、1 分間を与える。)



第二次試験

【参考】

平成 31 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

和声聴音[作曲, 指揮, ピアノ]

(主和音を与える。20 秒間隔で、6 回通奏を行う。6 回目の通奏終了後、1 分間を与える。)

$\text{♩} = 40$

【参考】

平成 31 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

和声聴音[弦楽, 管・打, 声楽, 音楽学]

(主和音を与える。20 秒間隔で、6 回通奏を行う。6 回目の通奏終了後、1 分間を与える。)

$\text{♩} = 40$

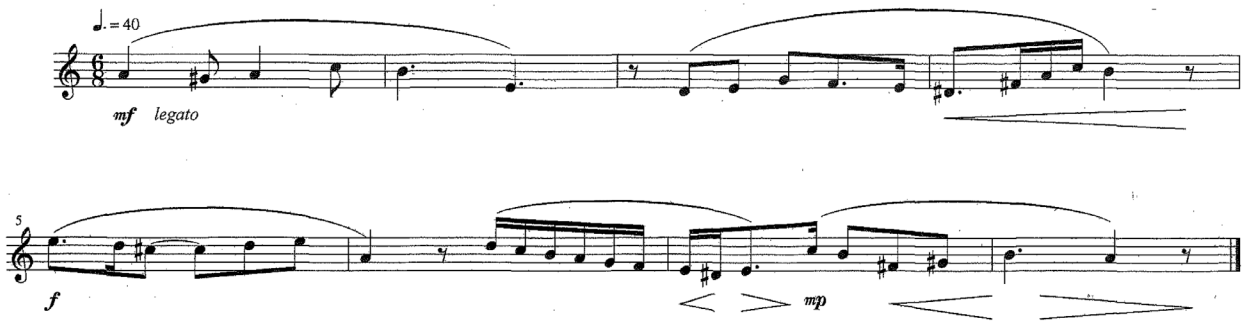
第二次試験

【参考】

平成 31 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

新曲視唱

(予見時間は 30 秒。主和音を与える。)



【参考】

平成 31 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

コールユーブンゲン視唱

(予見時間はなし。主和音を与える。)



【参考】

平成 31 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

新曲視奏

N.B. The alterations are valid only for the note with them.
注意：臨時記号はその臨時記号が書かれた音のみに有効である。

$\text{♩} = 54 \text{ ca.}$

non Ped.

Ped.

4

non Ped.

Ped.

7 **Più mosso** ($\text{♩} = 66 \text{ ca.}$)

non Ped.

$\text{Ped. (changing frequently and slightly, almost } 1/4)$

9

m.g.

m.g.

mp

第二次試験

[illegible]

各専攻副科ピアノ課題曲

副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

- 1 音階：次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を当日指定する。

速度は♩ = 76 M. M. 以上。

ハ長調 ト長調 ニ長調 イ長調 ヘ長調 変ロ長調 変ホ長調

イ短調 ホ短調 ロ短調 嬰ヘ短調 ニ短調 ト短調 ハ短調

(注) ハノン第 39 番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。

- 2 (A) J. S. Bach：平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻より 第 9 番 ホ長調 BWV854

(B) J. S. Bach：2 声のインヴェンション BWV772 ～ 786 より 1 曲又はシンフォニア（3 声のインヴェンション）BWV787 ～ 801 より 1 曲を自由選択

ただし、インヴェンション第 10 番ト長調、シンフォニア第 5 番変ホ長調、シンフォニア第 6 番ホ長調を除く。

- (C) B. Bartók：ミクロコスモス 第 2 巻より 第 50 番 「メヌエット」

(注) ※作曲及び指揮専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は (A) (B) の中から 1 つを選択し、演奏すること。

※弦楽、管・打楽、声楽及び音楽学専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は (A) (B) (C) の中から 1 つを選択し、演奏すること。

※全て暗譜で演奏すること。(繰り返しはしない。)

2020 年 6 月

京都市立芸術大学 事務局 入試担当

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

Tel 075-334-2238

Fax 075-334-2281

<http://www.kcua.ac.jp>